

一般社団法人日本施設園芸協会施設園芸等燃料価格高騰対策実施要領 一部改正新旧対照表

改正後	改正前
<p style="text-align: center;">一般社団法人日本施設園芸協会 施設園芸等燃油価格高騰対策実施要領</p> <p style="text-align: center;">第1節 総 側</p> <p>第1条～第15条 (略)</p> <p style="text-align: center;">第2節 施設園芸セーフティネット構築事業</p> <p>第16～第18 (略)</p> <p>第19 1～4 (略)</p> <p><u>5 第19条第3項の規定にかかわらず、事業参加者がヒートポンプ等の化石燃料を使用しない加温機（以下「省エネ機器」という。）を導入し、省エネ機器導入前の燃料使用量（当該使用量を把握することができない場合にあつては、地域の標準的な燃料使用量）と比較して10a 当たり燃料使用量又は単位生産量当たり燃料使用量を50%以上削減する目標に取り組む場合には、補填対象の燃料数量は、当該月の燃料の購入数量の100%とする。この場合において、各月の燃料の購入数量の累計が省エネ機器導入前の燃料使用量の50%を超えたときは、その超えた部分の数量については、第19条第3項の規定によるものとする。</u></p> <p>6 事業実施者が支援対象者に交付する燃料補填金の額は、次に掲げる算式により算出された額とし、対策資金の範囲内において、各支援対象者及びその事業参加者ごとに、当該燃料補填金の交付日における燃料補填積立金残高（当該燃料補填金を交付しようとする月の前月までの燃料補填金が未交付の場合は、当該燃料補填積立金残高からその額を差し引いた額）の2倍を限度とする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin-left: 40px;"> $\text{補填金の交付額} = \text{補填金単価} \times \text{補填対象の燃料数量}$ </div> <p><u>附則</u></p> <p><u>1 この改正は、令和6年10月4日から施行する。</u></p>	<p style="text-align: center;">一般社団法人日本施設園芸協会 施設園芸等燃油価格高騰対策実施要領</p> <p style="text-align: center;">第1節 総 側</p> <p>第1条～第15条 (略)</p> <p style="text-align: center;">第2節 施設園芸セーフティネット構築事業</p> <p>第16～第18 (略)</p> <p>第19 1～4 (略)</p> <p>(新設)</p> <p>6 事業実施者が支援対象者に交付する燃料補填金の額は、次に掲げる算式により算出された額とし、対策資金の範囲内において、各支援対象者及びその事業参加者ごとに、当該燃料補填金の交付日における燃料補填積立金残高（当該燃料補填金を交付しようとする月の前月までの燃料補填金が未交付の場合は、当該燃料補填積立金残高からその額を差し引いた額）の2倍を限度とする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin-left: 40px;"> $\text{補填金の交付額} = \text{補填金単価} \times \text{補填対象の燃料数量}$ </div> <p>(新設)</p>

(令和6年10月4日付け日施園第145号)

2 改正前の燃料価格高騰対策実施要領に基づく事業については、なお従前の例による。

別紙様式第6号(第9条第1項(第5項及び第6項)関係)

(別紙1)

施設園芸等燃料価格高騰対策事業実施計画書

第1 (略)

第2

(1) 10a 当たり燃料使用量を削減する目標

目標の内容		施設園芸における10a 当たり燃料使用量の削減(○事業年度)			
現状値 (燃料使用量)		目標値 (燃料使用量)		削減率	備考
A重油	kL	A重油	kL	%	
灯油	kL	灯油	kL	%	
LPガス	kg	LPガス	kg	%	
LNG	m ³	LNG	m ³	%	
合計(A重油換算)		合計(A重油換算)		%	

算出の根拠、目標達成に向けた取組内容等

(生産量の算出の根拠とともに、目標達成に向けた取組内容等について、管内の施設園芸の状況、品目及び栽培面積、省エネに向けた取組等を総合的に記載する。)

(注1) 燃料使用量欄は、A重油・灯油は「kL/10a」、LPガスは「kg/10a」、LNGは「m³/10a」を使用し、それぞれ、全支援対象者の省エネルギー等対策推進計画の取組面積の合計で除して求める。

(注2) (略)

別紙様式第6号(第9条第1項(第5項及び第6項)関係)

(別紙1)

施設園芸等燃料価格高騰対策事業実施計画書

第1 (略)

第2

(1) 10a 当たり燃料使用量を削減する目標

目標の内容		施設園芸における10a 当たり燃料使用量の削減(○事業年度)			
現状値 (燃料使用量)		目標値 (燃料使用量)		削減率	備考
A重油	kL	A重油	kL	%	
(新設)	(新設)	(新設)	(新設)	(新設)	(新設)
LPガス	kg	LPガス	kg	%	
LNG	m ³	LNG	m ³	%	
合計(A重油換算)		合計(A重油換算)		%	

算出の根拠、目標達成に向けた取組内容等

(生産量の算出の根拠とともに、目標達成に向けた取組内容等について、管内の施設園芸の状況、品目及び栽培面積、省エネに向けた取組等を総合的に記載する。)

(注1) 燃料使用量欄は、A重油・灯油は「KL/10a」、LPガスは「kg/10a」、LNGは「m³/10a」を使用し、それぞれ、全支援対象者の省エネルギー等対策推進計画の取組面積の合計で除して求める。

(注2) (略)

(注3) 燃料使用量の合計欄には、灯油(L)に0.939を、LPガス(kg)に1.299を、LNG(m³)に1.560を乗じて、それぞれをA重油使用量(L)に換算したもの(換算方法について、以下同様)とA重油使用量の合計を記載する。なお、それぞれの数値については小数点以下第1位を四捨五入する。

(2) 単位生産量当たり燃料使用量の削減

目標の内容		施設園芸における単位生産量当たり燃料使用量の削減 (○事業年度)			
現状値 (燃料使用量)		目標値 (燃料使用量)		削減率	備考
A重油	<u>kL</u>	A重油	<u>kL</u>	%	
<u>灯油</u>	<u>kL</u>	<u>灯油</u>	<u>kL</u>	<u>%</u>	
LPガス	<u>kg</u>	LPガス	<u>kg</u>	%	
LNG	m ³	LNG	m ³	%	
合計(A重油換算)		合計(A重油換算)		%	
生産量 t		生産量 t		—	品目名:
<u>kL</u> /t		<u>kL</u> /t		%	
算出の根拠、目標達成に向けた取組内容等					
(生産量の算出の根拠とともに、目標達成に向けた取組内容等について、管内の施設園芸の状況、品目及び栽培面積、省エネに向けた取組等を総合的に記載する。)					

(注1) 燃料使用量欄は、A重油・灯油は「kL/10a」、LPガスは「kg/10a」、LNGは「m³/10a」を使用し、それぞれ、全支援対象者の省エネルギー等対策推進計画の取組面積の合計で除して求める。

(注2) (略)

(注3) 燃料使用量の合計欄には、灯油(L)に0.939を、LPガス(kg)に1.299を、LNG(m³)に1.560を乗じて、それぞれをA重油使用量(L)に換算したもの(換算方法について、以下同様)とA重油使用量の合計を記載する。単位生産量当たり燃料使用量は、全支援対象者の省エネルギー等対策推進計画の生産量の合計で除して求める。

(注4)・(注5) (略)

(注3) 燃料使用量の合計欄には、LPガス(kg)に1.299を、LNG(m³)に1.560を乗じて、それぞれをA重油使用量(L)に換算したもの(換算方法について、以下同様)とA重油使用量の合計を記載する。なお、それぞれの数値については小数点以下第1位を四捨五入する。

(2) 単位生産量当たり燃料使用量の削減

目標の内容		施設園芸における単位生産量当たり燃料使用量の削減 (○事業年度)			
現状値 (燃料使用量)		目標値 (燃料使用量)		削減率	備考
A重油	<u>KL</u>	A重油	<u>KL</u>	%	
(新設)	(新設)	(新設)	(新設)	(新設)	(新設)
LPガス	<u>KG</u>	LPガス	<u>KG</u>	%	
LNG	m ³	LNG	m ³	%	
合計(A重油換算)		合計(A重油換算)		%	
生産量 t		生産量 t		—	品目名:
<u>KL</u> /t		<u>KL</u> /t		%	
算出の根拠、目標達成に向けた取組内容等					
(生産量の算出の根拠とともに、目標達成に向けた取組内容等について、管内の施設園芸の状況、品目及び栽培面積、省エネに向けた取組等を総合的に記載する。)					

(注1) 燃料使用量欄は、A重油・灯油は「KL/10a」、LPガスは「KG/10a」、LNGは「m³/10a」を使用し、それぞれ、全支援対象者の省エネルギー等対策推進計画の取組面積の合計で除して求める。

(注2) (略)

(注3) 燃料使用量の合計欄には、LPガス(kg)に1.299を、LNG(m³)に1.560を乗じて、それぞれをA重油使用量(L)に換算したもの(換算方法について、以下同様)とA重油使用量の合計を記載する。単位生産量当たり燃料使用量は、全支援対象者の省エネルギー等対策推進計画の生産量の合計で除して求める。

(注4)・(注5) (略)

(3) 民間の金融商品や備蓄タンク等を活用して燃料コストの変動を抑制する目標

目標の内容	施設園芸における燃料コストの変動を抑制(○事業年度)		
現状値 (燃料使用量)	目標値 (燃料コストの変動抑制量)	抑制率	備考
合計 <u>kL</u>	合計 <u>kL</u>	%	
合計 <u>kg</u>	合計 <u>kg</u>	%	
合計 m ³	合計 m ³	%	
算出の根拠、目標達成に向けた取組内容等			
(変動抑制量の算出の根拠とともに、目標達成に向けた取組内容等について、管内の施設園芸の状況、品目及び栽培面積、変動抑制の取組等を総合的に記載する。)			

(注1) (略)

(注2) A重油・灯油は「kL」、LPガスは「kg」、LNGは「m³」の欄に記載する。

(注3) (略)

(4) 過去の燃料使用量削減実績

	削減率	実施事業年度	実績
10a 当たり燃料使用量	15%	～	<u>kL</u> → <u>kL</u> (○%)
		～	<u>kL</u> → <u>kL</u> (○%)
			<u>kg</u> → <u>kg</u> (○%)
			<u>kg</u> → <u>kg</u> (○%)
			m ³ → m ³ (○%)
			m ³ → m ³ (○%)

(3) 民間の金融商品や備蓄タンク等を活用して燃料コストの変動を抑制する目標

目標の内容	施設園芸における燃料コストの変動を抑制(○事業年度)		
現状値 (燃料使用量)	目標値 (燃料コストの変動抑制量)	抑制率	備考
合計 <u>KL</u>	合計 <u>KL</u>	%	
合計 <u>KG</u>	合計 <u>KG</u>	%	
合計 m ³	合計 m ³	%	
算出の根拠、目標達成に向けた取組内容等			
(変動抑制量の算出の根拠とともに、目標達成に向けた取組内容等について、管内の施設園芸の状況、品目及び栽培面積、変動抑制の取組等を総合的に記載する。)			

(注1) (略)

(注2) A重油・灯油は「KL」、LPガスは「KG」、LNGは「m³」の欄に記載する。

(注3) (略)

(4) 過去の燃料使用量削減実績

	削減率	実施事業年度	実績
10a 当たり燃料使用量	15%	～	<u>KL</u> → <u>KL</u> (○%)
		～	<u>KL</u> → <u>KL</u> (○%)
			<u>KG</u> → <u>KG</u> (○%)
			<u>KG</u> → <u>KG</u> (○%)
			m ³ → m ³ (○%)
			m ³ → m ³ (○%)

単位生産量当たり燃料 使用量	15%	～	<u>kL</u> → <u>kL</u> (○%)
			<u>kg</u> → <u>kg</u> (○%)
			m ³ → m ³ (○%)

(注1) (略)

(注2) 実績はA重油・灯油は「kL」、LPガスは「kg」、LNGは「m³」の欄にそれぞれ記載し、省エネルギー等対策推進計画策定時の燃料現在使用量及び目標年の燃料使用実績を記載し、その差の率をカッコ内の削減率として記載。

単位生産量当たり燃料 使用量	15%	～	<u>KL</u> → <u>KL</u> (○%)
			<u>KG</u> → <u>KG</u> (○%)
			m ³ → m ³ (○%)

(注1) (略)

(注2) 実績はA重油・灯油は「KL」、LPガスは「KG」、LNGは「m³」の欄にそれぞれ記載し、省エネルギー等対策推進計画策定時の燃料現在使用量及び目標年の燃料使用実績を記載し、その差の率をカッコ内の削減率として記載。

(削除)

第1 産地における燃料使用量削減等の目標

1 (略)

2 過去の燃料使用量削減実績

	削減率	実施事業年度	実績
10a 当たり燃料使用量	15%	～	<u>kL</u> → <u>kL</u> (○%)
		～	<u>kL</u> → <u>kL</u> (○%)
		～	<u>kg</u> → <u>kg</u> (○%)
		～	<u>kg</u> → <u>kg</u> (○%)
		～	m ³ → m ³ (○%)
		～	m ³ → m ³ (○%)
単位生産量当たり燃料 使用量	15%	～	<u>kL</u> → <u>kL</u> (○%)
		～	<u>kg</u> → <u>kg</u> (○%)
		～	m ³ → m ³ (○%)

(注1) (略)

(注2) 実績はA重油・灯油は「kL」、LPガスは「kg」、LNGは「m³」の欄にそれぞれ記載し、

(別紙2)

第1 産地における燃料使用量削減等の目標

1 (略)

2 過去の燃料使用量削減実績

	削減率	実施事業年度	実績
10a 当たり燃料使用量	15%	～	<u>KL</u> → <u>KL</u> (○%)
		～	<u>KL</u> → <u>KL</u> (○%)
		～	<u>KG</u> → <u>KG</u> (○%)
		～	<u>KG</u> → <u>KG</u> (○%)
		～	m ³ → m ³ (○%)
		～	m ³ → m ³ (○%)
単位生産量当たり燃料 使用量	15%	～	<u>KL</u> → <u>KL</u> (○%)
		～	<u>KG</u> → <u>KG</u> (○%)
		～	m ³ → m ³ (○%)

(注1) (略)

(注2) 実績はA重油・灯油は「KL」、LPガスは「KG」、LNGは「m³」の欄にそれぞれ記載し、

省エネルギー等対策推進計画策定時の燃料現在使用量及び目標年の燃料使用実績を記載し、その差の率をカッコ内の削減率として記載。

3 燃料使用量削減等の目標

(1) 10a 当たり燃料使用量を削減する目標

燃料の種類	年間(加温期間)使用量		削減量 ③=①-②	削減率 ④=③/①× 100
	現在 ①	目標②		
A重油	<u>kL</u>	<u>kL</u>	<u>kL</u>	%
<u>灯油</u>	<u>kL</u>	<u>kL</u>	<u>kL</u>	%
LPガス	<u>kg</u>	<u>kg</u>	<u>kg</u>	%
LNG	<u>m³</u>	<u>m³</u>	<u>m³</u>	%
合計(A重油換 算)	<u>kL</u>	<u>kL</u>	<u>kL</u>	%
10a 当たり	<u>kL</u>	<u>kL</u>	<u>kL</u>	%

(注1)・(注2) (略)

(注3) 燃料使用量の合計欄には、灯油(L)に0.939を、LPガス(kg)に1.299を、LNG(m³)に1.560を乗じて、それぞれをA重油使用量(L)に換算したもの(換算方法について、以下同様)とA重油使用量の合計を記載する。なお、それぞれの数値については小数点以下第1位を四捨五入する。

(2) 単位生産量当たり燃料使用量を削減する目標

	年間(加温期間)生産量	削減量	削減率
--	-------------	-----	-----

省エネルギー等対策推進計画策定時の燃油現在使用量及び目標年の燃油使用実績を記載し、その差の率をカッコ内の削減率として記載。

3 燃料使用量削減等の目標

(1) 10a 当たり燃料使用量を削減する目標

燃料の種類	年間(加温期間)使用量		削減量 ③=①-②	削減率 ④=③/①× 100
	現在 ①	目標②		
A重油 <u>または灯 油</u> <small>(灯油の場合はA重油 に換算)</small>	<u>KL</u>	<u>KL</u>	<u>KL</u>	%
(新設)	(新設)	(新設)	(新設)	(新設)
LPガス	<u>K G</u>	<u>K G</u>	<u>K G</u>	%
LNG	<u>m³</u>	<u>m³</u>	<u>m³</u>	%
合計(A重油換 算)	<u>KL</u>	<u>KL</u>	<u>KL</u>	%
10a 当たり	<u>KL</u>	<u>KL</u>	<u>KL</u>	%

(注1)・(注2) (略)

(注3) 燃料使用量の合計欄には、LPガス(kg)に1.299を、LNG(m³)に1.560を乗じて、それぞれをA重油使用量(L)に換算したもの(換算方法について、以下同様)とA重油使用量の合計を記載する。なお、それぞれの数値については小数点以下第1位を四捨五入する。

(2) 単位生産量当たり燃料使用量を削減する目標

	年間(加温期間)生産量	削減量	削減率
--	-------------	-----	-----

	現在①	目標②	③=①-②	④=③/①×100
生産量 (品目名:)	t	t		
1t当たりの 燃料使用量	kL	kL	kL	%
	kg	kg	kg	
	m ³	m ³	m ³	
合計(A重油換算)	kL	kL	kL	%

(注1)～(注4) (略)

(3) 民間の金融商品や備蓄タンク等を活用して燃料コストの変動を抑制する目標

燃料の種類	年間(加温期間)使用量:現在 ①	年間(加温期間)抑制量:目標 ②	抑制率 ③=②/①×100
A重油	kL	kL	%
灯油	kL	kL	%

	現在①	目標②	③=①-②	④=③/①×100
生産量 (品目名:)	t	t		
1t当たりの 燃料使用量	K L	KL	KL	%
	K G	KG	KG	
	m ³	m ³	m ³	
(新設)	(新設)	(新設)	(新設)	(新設)

(注1)～(注4) (略)

(3) 民間の金融商品や備蓄タンク等を活用して燃料コストの変動を抑制する目標

燃料の種類	年間(加温期間)使用量:現在 ①	年間(加温期間)抑制量:目標 ②	抑制率 ③=②/①×100
A重油または灯油 (灯油の場合はA重油に換算)	KL	KL	%
(新設)	(新設)	(新設)	(新設)

LPガス	kg	kg	%
LNG	m ³	m ³	%

(注1)・(注2) (略)

第2 目標達成に向けた取組手段

(1) 10a 当たり燃料使用量の削減を目標とする者の取組計画一覧

No.	氏名	温室 面積	燃料使用量		省エネ設備導入計画			省工 ネ加 速化 特例
			現在	目標	事業年 度	事業年 度	事業年 度	
		a	L	L				
					台	台	台	
					a	a	a	
					(参考)			
		a	L	L				
					台	台	台	
					a	a	a	
					(参考)			
		a	L	L				
					台	台	台	

LPガス	<u>KG</u>	<u>KG</u>	%
LNG	m ³	m ³	%

(注1)・(注2) (略)

第2 目標達成に向けた取組手段

(1) 10a 当たり燃料使用量の削減を目標とする者の取組計画一覧

No.	氏名	温室 面積	燃料使用量		省エネ設備導入計画			(新 設)
			現在	目標	事業年 度	事業年 度	事業年 度	
		a	L	L				(新 設)
					台	台	台	
					a	a	a	
					(参考)			
		a	L	L				(新 設)
					台	台	台	
					a	a	a	
					(参考)			
		a	L	L				(新 設)
					台	台	台	

										特 例
		a	L	L	(L/t)	t (L/t)	台 a	台 a	台 a	
		a	L	L	(L/t)	t (L/t)	台 a	台 a	台 a	
		a	L	L	(L/t)	t (L/t)	台 a	台 a	台 a	
		a	L	L	(L/t)	t (L/t)	台 a	台 a	台 a	
合計		a	L	L	(L/t)	t (L/t)	台 a	台 a	台 a	

		a	L	L	(L/t)	t (L/t)	台 a	台 a	台 a	(新 設)
		a	L	L	(L/t)	t (L/t)	台 a	台 a	台 a	(新 設)
		a	L	L	(L/t)	t (L/t)	台 a	台 a	台 a	(新 設)
		a	L	L	(L/t)	t (L/t)	台 a	台 a	台 a	(新 設)
合計		a	L	L	(L/t)	t (L/t)	台 a	台 a	台 a	(新 設)

				(L/t)	(L/t)	(参考)	
--	--	--	--	-----------	-----------	------	--

(注1)～(注5) (略)

(注6) 第19条第5項の規定に取り組む者は省エネ加速化特例の欄に「○」を記入する。

(注7) 申請数が多い場合等は、本表を別葉とする。

【添付資料】燃料使用量・生産量の算定方法を確認できる資料

(3) 民間の金融商品や備蓄タンク等を活用して燃料コストの変動を抑制することを目標とする者の取組計画一覧

No.	氏名	温室面積	燃料使用量 (現在)	燃料コストの変動抑制量 (目標)	変動抑制取組計画			省エネ加速化特例
					事業年度	事業年度	事業年度	
		a	L	L	(参考)			
		a	L	L	(参考)			
		a	L	L	(参考)			
		a	L	L	(参考)			

				(L/t)	(L/t)	(参考)	
--	--	--	--	-----------	-----------	------	--

(注1)～(注5) (略)

(新設)

(注6) 申請数が多い場合等は、本表を別葉とする。

【添付資料】燃料使用量・生産量の算定方法を確認できる資料

(3) 民間の金融商品や備蓄タンク等を活用して燃料コストの変動を抑制することを目標とする者の取組計画一覧

No.	氏名	温室面積	燃料使用量 (現在)	燃料コストの変動抑制量 (目標)	変動抑制取組計画			(新設)
					事業年度	事業年度	事業年度	
		a	L	L	(参考)			(新設)
		a	L	L	(参考)			(新設)
		a	L	L	(参考)			(新設)
		a	L	L	(参考)			(新設)

合計	ha	L	L	(参考)	
----	----	---	---	------	--

(注1)・(注2) (略)

(注3) 燃料コストの変動抑制量は、燃料コストの変動が産地の経営に及ぼすリスクに対して、民間の金融商品や備蓄タンク等の活用により、産地が燃料コストの変動に対するリスク軽減に備えている燃料量を記載する(例えば、備蓄タンクの活用であれば、燃料価格が高騰した際に、一定価格(高騰した価格よりも安い価格)で〇〇kL売り渡せることが可能な量)。

(注4) (略)

(注5) 第19条第5項の規定に取り組む者は省エネ加速化特例の欄に「〇」を記入する。

(注6) 申請数が多い場合等は、本表を別葉とする。

(注7) 燃料価格や燃料使用量の変動を抑制するための取組内容は支援対象者ごとに異なることから、本表については、事業主体と協議の下、適宜変更することも可能とする。

【添付資料】

現在の燃料使用量、目標の変動抑制量の算定方法を確認できる資料

(別紙2) (略)

別紙様式第7号

施設園芸等燃料価格高騰対策実施状況報告書 (〇事業年度)

第1・第2 (略)

第3 目標の達成状況 (毎年度報告)

1 省エネルギー等対策推進計画に取り組んだ事業年度：
令和〇事業年度 (目標年度：令和〇事業年度)

(1) 当初目標

(10a 当たり燃料使用量を削減する目標)

燃料の種類	年間(加温期間)使用量		削減量 ③=①-②	削減率 ④=③/①× 100
	現在 ①	目標②		

合計	ha	L	L	(参考)	(新設)
----	----	---	---	------	------

(注1)・(注2) (略)

(注3) 燃油コストの変動抑制量は、燃料コストの変動が産地の経営に及ぼすリスクに対して、民間の金融商品や備蓄タンク等の活用により、産地が燃料コストの変動に対するリスク軽減に備えている燃料量を記載する(例えば、備蓄タンクの活用であれば、燃料価格が高騰した際に、一定価格(高騰した価格よりも安い価格)で〇〇KL売り渡せることが可能な量)。

(注4) (略)

(新設)

(注5) 申請数が多い場合等は、本表を別葉とする。

(注6) 燃料価格や燃料使用量の変動を抑制するための取組内容は支援対象者ごとに異なることから、本表については、事業主体と協議の下、適宜変更することも可能とする。

【添付資料】

現在の燃料使用量、目標の変動抑制量の算定方法を確認できる資料

(別紙2) (略)

別紙様式第7号

施設園芸等燃料価格高騰対策実施状況報告書 (〇事業年度)

第1・第2 (略)

第3 目標の達成状況 (毎年度報告)

1 省エネルギー等対策推進計画に取り組んだ事業年度：
令和〇事業年度 (目標年度：令和〇事業年度)

(1) 当初目標

(10a 当たり燃料使用量を削減する目標)

燃料の種類	年間(加温期間)使用量		削減量 ③=①-②	削減率 ④=③/①× 100
	現在 ①	目標②		

A重油	<u>kL</u>	<u>kL</u>	<u>kL</u>	%
灯油	<u>kL</u>	<u>kL</u>	<u>kL</u>	%
LPガス	<u>kg</u>	<u>kg</u>	<u>kg</u>	%
LNG	m ³	m ³	m ³	%
合計(A重油換算)	<u>kL</u>	<u>kL</u>	<u>kL</u>	%
10a 当たり	<u>kL</u>	<u>kL</u>	<u>kL</u>	%

(注) (略)

(単位生産量当たり燃料使用量を削減する目標)

	年間(加温期間)生産量		削減量 ③=①-②	削減率 ④=③/① × 100
	現在①	目標②		
生産量 (品目名:)	t	t		
1t 当たりの 燃料使用量	<u>kL</u>	<u>kL</u>	<u>kL</u>	%
	<u>kg</u>	<u>kg</u>	<u>kg</u>	
	m ³	m ³	m ³	
合計(A重油換算)	<u>kL</u>	<u>kL</u>	<u>kL</u>	%

(注1)・(注2) (略)

A重油または灯油 (灯油の場合はA重油に換算)	<u>KL</u>	<u>KL</u>	<u>KL</u>	%
(新設)	(新設)	(新設)	(新設)	(新設)
LPガス	<u>K</u> <u>G</u>	<u>K</u> <u>G</u>	<u>K</u> <u>G</u>	%
LNG	m ³	m ³	m ³	%
合計(A重油換算)	<u>KL</u>	<u>KL</u>	<u>KL</u>	%
10a 当たり	<u>KL</u>	<u>KL</u>	<u>KL</u>	%

(注) (略)

(単位生産量当たり燃料使用量を削減する目標)

	年間(加温期間)生産量		削減量 ③=①-②	削減率 ④=③/①× 100
	現在①	目標②		
生産量 (品目名:)	t	t		
1t 当たりの 燃料使用量	<u>KL</u>	<u>KL</u>	<u>KL</u>	%
	<u>KG</u>	<u>KG</u>	<u>KG</u>	
	m ³	m ³	m ³	
(新設)	(新設)	(新設)	(新設)	(新設)

(注1)・(注2) (略)

(民間の金融商品や備蓄タンク等を利用して燃料コストの変動を抑制する目標)

燃料の種類	年間(加温期間) 使用量:現在 ①	年間(加温期間) 抑制量:目標 ②	抑制率 ③=②/①×100
A重油	<u>kL</u>	<u>kL</u>	%
<u>灯油</u>	<u>kL</u>	<u>kL</u>	<u>%</u>
LPガス	<u>kg</u>	<u>kg</u>	%
LNG	m ³	m ³	%

(注) (略)

(2)達成状況

(10a 当たり燃料使用量を削減)

燃料の種類	年間(加温期間)使用量 実績 ⑤	削減率 ⑥=(①-⑤)/①×100
A重油	<u>kL</u>	%
10a 当たり	<u>kL</u>	%

(民間の金融商品や備蓄タンク等を利用して燃料コストの変動を抑制する目標)

燃料の種類	年間(加温期間) 使用量:現在 ①	年間(加温期間) 抑制量:目標 ②	抑制率 ③=②/①×100
A重油 <u>または灯油</u> (灯油の場合はA重油 に換算)	<u>KL</u>	<u>KL</u>	%
(新設)	(新設)	(新設)	(新設)
LPガス	<u>KG</u>	<u>KG</u>	%
LNG	m ³	m ³	%

(注) (略)

(2)達成状況

(10a 当たり燃料使用量を削減)

燃料の種類	年間(加温期間)使用量 実績 ⑤	削減率 ⑥=(①-⑤)/①×100
A重油 <u>または灯油</u> (灯油の場合はA重油に換算)	<u>KL</u>	%
10a 当たり	<u>KL</u>	%

灯油	<u>kL</u>	<u>%</u>
10a 当たり	<u>kL</u>	<u>%</u>
LPガス	<u>kg</u>	<u>%</u>
10a 当たり	<u>kg</u>	<u>%</u>
LNG	<u>m³</u>	<u>%</u>
10a 当たり	<u>m³</u>	<u>%</u>
<u>合計(A重油換算)</u>	<u>kL</u>	<u>%</u>
<u>10a 当たり</u>	<u>kL</u>	<u>%</u>

(注) (略)

(単位生産量当たり燃料使用量を削減)

生産量 (品目名:)	年間(加温期間) 生産量実績 ⑤	削減率 ⑥=(①-⑤)/①×100
		t
1t当たりの 燃料使用量	<u>kL</u>	<u>%</u>
	<u>kg</u>	<u>%</u>
	<u>m³</u>	<u>%</u>
<u>合計(A重油換算)</u>	<u>kL</u>	<u>%</u>

(新設)	(新設)	(新設)
(新設)	(新設)	(新設)
LPガス	<u>KG</u>	<u>%</u>
10a 当たり	<u>KG</u>	<u>%</u>
LNG	<u>m³</u>	<u>%</u>
10a 当たり	<u>m³</u>	<u>%</u>
<u>(新設)</u>	<u>(新設)</u>	<u>(新設)</u>
<u>(新設)</u>	<u>(新設)</u>	<u>(新設)</u>

(注) (略)

(単位生産量当たり燃料使用量を削減)

生産量 (品目名:)	年間(加温期間) 生産量実績 ⑤	削減率 ⑥=(①-⑤)/①×100
		t
1t当たりの 燃料使用量	<u>KL</u>	<u>%</u>
	<u>KG</u>	<u>%</u>
	<u>m³</u>	<u>%</u>
<u>(新設)</u>	<u>(新設)</u>	<u>(新設)</u>

(注1)～(注3) (略)

(民間の金融商品や備蓄タンク等を活用して燃料コストの変動を抑制)

燃料の種類	年間(加温期間) 抑制量実績 ④	抑制率 ⑤=④/①×100
A重油	<u>kL</u>	%
<u>灯油</u>	<u>kL</u>	<u>%</u>
LPガス	<u>kg</u>	%
LNG	m ³	%

(注) (略)

2 (略)

(注1)～(注3) (略)

(民間の金融商品や備蓄タンク等を活用して燃料コストの変動を抑制)

燃料の種類	年間(加温期間) 抑制量実績 ④	抑制率 ⑤=④/①×100
A重油 <u>または灯油</u> <small>(灯油の場合はA重油に換算)</small>	<u>KL</u>	%
(新設)	(新設)	(新設)
LPガス	<u>KG</u>	%
LNG	m ³	%

(注) (略)

2 (略)